

令和6年度子ども・子育てに関する図書館の取り組み

図書館では、子ども達により多くの本と出会い、読書を楽しめるよう、令和5年度に「第三次子ども読書活動推進計画」を策定。

幼少期における本とのかかわりは、感性の育成や知識の習得など、その後の成長過程において大きな影響を与えることから、令和6年度も同計画に沿い、読書活動推進に取り組んでいきます。

(主な取り組み)

◆ブックスタート事業（令和6年度から再開）

【目的】

絵本の読み聞かせをつうじ、赤ちゃんと保護者が絵本を楽しみながら良好なコミュニケーションがとれる環境づくりを推進するもの。

【概要】

- ・3か月児健診の受診者（保護者）を対象に、家庭での読み聞かせの大切さや読み聞かせのコツなどを、実際に読み聞かせをしながら伝える活動。
- ・受診する乳児に対し、図書館が推奨する3種類の絵本の中から、保護者が希望する本を1冊プレゼントし、家に帰ったその日から読み聞かせができる環境を整えるもの。

◆読み聞かせサポーター養成講座の開催（拡大継続）

【目的】

子ども達が集まっている場所へボランティアが出張し、より多くの子どもに読み聞かせを楽しんでもらい、本への親しみや読書意欲の向上を図るもの。

また、ボランティアの活躍の場を設けることで、担い手のやりがいや生きがいつくりにつなげていくもの。

【概要】

- ・学校や幼保こども園などで読み聞かせを行うボランティアを養成するもの。
- ・各地域で養成し、地域の学校等で定期的な読み聞かせ活動を行うほか、地元図書施設や各種イベントでも活動。